

都市化の進展に伴って犯罪の増加は避けられない。都市は巨大化し発展することによって自立的な生活力を失い、外部の力に対しては脆弱になる。犯罪者はそこをねらうことになる。
東広島市も例外ではない。犯罪が常習化、凶悪化するに伴い、我々の自己防衛が一層必要になってくる。



入学おめでとうございます。これまでも皆さん方は、ご家庭で両親の保護のもとで生活をしてこられた方が大半ではないかと思えます。ところがこれからは、独り住まいをされる方が多くおられるのではないかと思います。
ご家庭に居られた時は、家の鍵は家族が掛けられることが習慣となっていて、自分の安全は自分で守らなければならぬ状態となったのです。

ここ、東広島市でのこれまでの各種犯罪の発生状況から、皆さん方に特に注意をいただきたいことを列挙してみました。これは初歩的なアドバイスであり、これだけを守っておれば絶対に安全というものではありません。時代は毎日変化をしており、犯罪の発生形態も当然変化しているのです。

ば、万一「ひったくり」の被害にあっても、犯人は現金などが無いと近くに捨てるので、実質被害が食い止められます。
四. 痴漢や変質者に注意を



東広島市には、他の都市部と比較して、痴漢や変質者がたくさんおります。近隣の市町村から、犯人たちは女子大生にターゲットを絞って来ているのです。犯人たちは「東広島市に行けば女子大生がたくさんいる」を合言葉にしているのです。

夕方からの訪問者には特に警戒を強め、不用意に出入り口を開けないようにしてください。また、アパートで誰にも見られないとの安堵感から、室内で下着姿などにならないようにしてください。

特に、新聞受けの小窓をしつかり点検してください。なかには新聞受けの小窓から室内が全て見られるようになっていたりアパートもあります。

夜間の一人歩きは絶対にやめてください。犯人たちは女子大生の貴女を狙っています。

特に皆さんがたに大きく訴えたいことは（皆さん方のみでなく、ほとんどの住民の方が）、

◎犯罪の被害者に自分は絶対にならない。犯罪者も自分を絶対に狙わない。
◎犯罪の被害に遭うような人は、そのような危険なところに行くからだ。
◎被害に遭いそうになれば、大きな声を出して助けを呼べばよい。逃げればよい。
と考えている人がほとんどではないでしょうか。

災害は、前もって絶対に誰も教えてはくれませんが、また、自分では十分に気をつけていても、間隙（かんげき）が生じるものです。そのときに大きな落し穴があることを今一度認識し、皆さん方が相互に助け合って有意義な学生生活を送ってください。

広島市で生活するの被害に遭わない事項

西条警察署 生活安全課長 田口 勇一

新入生が東うえで犯罪のための注意

五. 恐喝、暴行事件の被害者にならないように



昨年は、男子学生が恐喝や暴行事件の被害にたくさん遭われております。犯人は、大学生なら抵抗をしないしお金を持っているから、と男子学生をターゲットにしているのです。

これまでの被害の実態をみますと、間違いないなりに、犯人の人間相

一. 居宅の戸締まりを確実に

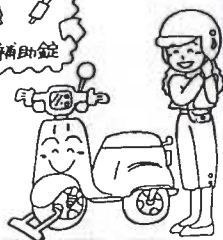


大半の方がマンションに入居されると思います。ご存じのとおり、近年は地域における連帯感が希薄化し、隣近所の付き合いも疎遠となってきており、自分の安全は自分で守る時代となってきております。

「アパートの出入り口に鍵を掛けているから安心」は禁物です。出入り口や窓に補助鍵を別に取り付けることが必要です。

また、鍵は掛けることに意味があります。居宅にいる時も留守にする時も、鍵を掛ける習慣をつけてください。

二. オートバイや自転車に二重鍵を



や着衣を全く見ていないという事件もありました。

これは現実の問題であり、学生が「自分は犯罪の被害には絶対にかからない」と自己暗示をかけているぶん、犯人にとっては、狙うのに一番都合がよいのです。

六. 夜間の外出をやめよう

大学生を狙った事件はたくさんあります。特に、夜間の事件がほとんどです。やむなく夜間外出をしなければならぬ時は、人通りのある道や民家の多い所を選んで、街灯があつて遠くまで見通せる道を選んでください。そのためには、近所の友だちと、街灯の位置や夜間開店しているお店などを調べたり、自宅周辺の地理を詳しく調べておくことが必要です。

例えば、公衆電話の位置、警察署や消防署の位置、交番・駐在所の位置などを調べておくことにより、万一の場合に助けを求めることができます。研究などで夜間帰宅する場合がありますが、近所の友だちと複数で帰宅するようにしてください。

七. 夜遊びは慎もう

警察に寄せられる苦情の中で大変多いのが、学生の夜遊びによる迷惑です。特に、夏場にアパートの窓を開放して飲酒し声の大きいので眠れないとか、深夜に花火で遊ぶので音がうるさくて眠れない等といった苦情です。他人と自分を置き換えてみる必要があります。自分にとっては当たり前の

西条警察署管内において、平成八年中にオートバイや自転車を盗まれて届け出をされた人は八九三名います。

届け出をされた内容を見ますと、オートバイでは七割が、鍵を抜いてハンドロックを掛けていたものが盗まれており、自転車では六割が、鍵を掛けていて盗まれています。オートバイは一週間に六台が盗まれており、自転車は二日に三台が盗まれていることになりました。

大事なオートバイや自転車を盗まれないために、必ず二重鍵（補助錠としてチェーン錠）を取り付けてください。

三. 「ひったくり」に注意を



大学生を狙った「ひったくり」の犯人がたくさんおります。特に自転車の前かごに無造作に鞆やハンドバックを入れないようにしてください。

また、歩いている時も、鞆やハンドバックはしっかりと握っておくことが大切です。日頃から、大事な現金や貴金属、カード類は、鞆やハンドバックに入れてポケットなどに入れておけ

ことが、他人にたいへんな迷惑をかけていることがあるのです。

このような苦情はほとんどが一一〇番通報で、その都度警察官は緊急出動するのです。緊急出動をしている時に凶悪事件などの大事件が発生した場合、警察としては初期捜査が大幅に遅れ、たいへん困るといふことを付け加えておきます。

八. 万一の時は一一〇番通報を

大学生被害の事件が昨年多発しましたが、警察への通報が非常に遅れ、犯人検挙には至っていないのが実情です。特異なものでは、犯罪の被害にかつてから数日後に警察に届け出たという事件もありました。

警察では、事件が発生しますと、事件の内容によっては、西条警察署の警察官を全員呼び出して事件捜査をする場合もあり、また、広島県警察をあげて捜査をする場合があります。しかし通報（届け出）が遅いと、犯人は遠くに逃走しており、対処できないことがあるのです。

従って、万一の時は一一〇番通報をしてください。

「これくらいは事件だから」と一一〇番通報を渋らないでください。

事件には、波及性・模倣性があり、連続して犯行を繰り返すこともあるのです。どのような犯罪が発生しているかは、警察でなければわからないのです。素早く通報をしていただくことにより、第二、第三の犯罪が防止できるのです。